

気付いたことを伝え合い、自分の考えを深める活動

社会科・小学校3年・店で働く人々の仕事

ねらい：販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解する。

期待される効果

気付いたことを友達と共有して一つのデータにまとめることで、友達の考えを参考にすることができる。また、考察したことや新たに出た疑問を共有フォルダに保存しておくことで、いつでも閲覧し、振り返ることができる。



使用する機能：メモ（付箋）機能、画面共有

使用するアプリ：Google SlideまたはMicrosoft PowerPoint

Google JamboardまたはMicrosoft Whiteboard・PowerPoint



	学習活動	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	一斉 課題の確認	1 課題の確認 ・前時にスーパーマーケットに行つて調べたことを確認する。	・見学の様子を想起しやすいように活動写真を提示する。
	課題：スーパーマーケットの売り場では、お客さんのためにどのような工夫をしているのでしょうか。		
展開	グループ 気付きの交流	2 気付きの交流 ・課題について、前時に個人でまとめたメモをもとにグループでまとめる。	・事前に1グループに1枚のJamboardを用意しておく。 ・事前にノートにあるメモの中から、他のグループに知らせたい事柄を自分のグループのJamboardに付箋機能を活用して貼り付ける。協働して発表資料を作成する。
	一斉 発表	・グループごとに発表する。	・グループの発表資料を大型モニタに映し出す。 ・出てきた意見を児童と一緒に分類し、板書するようにする。
まとめ	個別 考察	3 考察 ・お客さんに来てもらうためのスーパーマーケットの工夫について考える。	・お客さんのためにどのような工夫をしているか考えたことや新たな疑問についてノートに書く。 ・新たな疑問点については、Jamboardに先ほどと色が違う付箋を用いて書き込む。
	個別 一斉	4 振り返り ・ノートに書いた考察したことと新たに出た疑問を発表する。 ・次時はスーパーマーケットの店員にインタビューすることを予告する。	・共有フォルダに保存することで、次時行うインタビューの質問内容について共有、確認することができる。